

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
22111	消防局管理事務	消防局	総務課	シートA	2
22111	職員採用事務	消防局	総務課	シートA	3
22111	職員資格取得事務	消防局	総務課	シートA	4
22111	職員教養研修事務	消防局	総務課	シートA	5
22111	職員被服貸与事務	消防局	総務課	シートA	6
22111	消防署所等維持管理業務	消防局	総務課	シートA	7
22111	消防長会事務	消防局	総務課	シートA	8
22111	消防施設営繕事業	消防局	総務課	シートA	9
22111	女性消防吏員活躍推進事業	消防局	総務課	シートA	10
29999	消防基金積立事業	消防局	総務課	シートA	11
62221	昇任試験事務	消防局	総務課	シートA	12

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主任	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防局管理事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防法・消防組織法・松山市消防本部および消防署に関する条例					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防総務事務及び消防局全体に作用する庁舎維持管理を行い、円滑な消防業務の取り組みを進める。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防局の設置					
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	【対象】消防施設及び消防職員 【内容】・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)				57,836		60,050		60,778	
決算額(B)(単位:千円)				65,503		64,529			
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		32		0	
	一般財源			65,503		64,497		60,778	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						燃料費:19,240千円 使用料及び賃借料:14,443千円 賃金:9,179千円		燃料費:26,183千円 使用料及び賃借料:18,875千円 通信運搬費:6,252千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		-7,667		-4,479			

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	円滑な消防業務の取り組みを進めている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防車両の運行や消防事務の円滑な遂行に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R2年度の目標	継続して円滑な消防業務の取り組みを進める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・消防車両燃料費の購入 ・業務に必要な物品のリース など		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	長谷川 深	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員採用事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-		取り組み	-	
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令, 条例, 個別計画等	地方公務員法					
事業の目的(どのような状態にするか)	職員採用試験を公平・公正に行うとともに、有能な人材を確保することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	地方公務員法第15条に、職員の任用は受験成績、人事評価その他の能力の実証に基づいて行わなければならないと規定されているため。					
対象・事業内容(誰に対して,何をするのか)	【対象】日本国籍を有するほか、採用試験実施要領の資格要件を満たしている者 【事業内容】 1. 採用試験実施要領の告示(市役所掲示板、ホームページ、広報誌等) 2. 受験の手続き 3. 第1次試験(教養試験・消防適性試験・体力試験)の実施及び結果発表 4. 第2次試験(適性検査・個別面談・集団面接・集団討論)の実施及び結果発表 5. 第3次試験(口述試験)の実施及び結果発表 6. 第3次試験の合格者を採用候補者名簿に登録					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	【有り】の場合、基準や金額等 【無し】の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A) (単位:千円)						1,438		1,491	1,402
決算額(B) (単位:千円)						1,114		1,390	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金		0		0		0	0
		県支出金		0		0		0	0
		市債		0		0		0	0
		その他		0		0		0	0
		一般財源		1,114		1,390		1,402	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算								試験問題等委託料:790千円 試験会場借上料:321千円	試験問題等委託料:643千円 試験会場借上料:400千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				324		101	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・松山市消防職員(上級)採用試験を実施 ・松山市消防職員(初級)採用試験を実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	採用試験の受験啓発について、工夫を継続する必要あり		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	よりよい人材を確保することで、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	職員採用試験を公平・公正に行うとともに、有能な人材を確保することを目的とする。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・松山市消防職員(上級)採用試験 ・松山市消防職員(初級)採用試験を実施予定		特になし

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	長谷川 深	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員資格取得事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防職員教養研修計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防職員が複雑・多様化する災害に迅速・的確かつ安全に対応するため、法令に定められた免許、資格等を取得することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法の公布・施行に伴い、昭和23年9月に松山市消防本部が設置されて以降、継続・計画的に行っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】松山市消防職員 【事業内容】関係機関が行う免許試験、技能講習、特別教育を受験、受講する。 ※救急救命士、大型自動車、小型移動式クレーンなど					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	【有り】の場合、基準や金額等 【無し】の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)						6,706		6,230	6,510
決算額(B)(単位:千円)						6,355		6,129	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		0	0
			県支出金			0		0	0
			市債			0		0	0
			その他			44		44	50
			一般財源			6,311		6,085	6,460
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						負担金:5,732千円 普通旅費:210千円		負担金:5,879千円 普通旅費:239千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			351		101	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	救急救命士免許取得 大型自動車免許取得 小型移動式クレーン技能講習 など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の目標どおり達成できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防業務に必要な免許・資格等を取得することで、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	消防職員が複雑・多様化する災害に迅速・的確かつ安全に対応するため、法令に定められた免許、資格等を取得することを目的とする。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	救急救命士 大型自動車 小型移動式クレーン技能講習 ガス溶接技能講習 伐木等の業務についての特別講習 などの免許等を取得予定	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	特になし

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	相田 雅敏	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214				
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	長谷川 深	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員教養研修事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第52条					
事業の目的(どのような状態にするか)	総務省消防庁消防大学校及び愛媛県消防学校などで、高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材を育成することを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	消防組織法の公布・施行に伴い、昭和23年9月に松山市消防本部が設置されて以降、継続・計画的に行っている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】松山市消防職員 【事業内容】各機関で高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材を育成することを目的とする。 1. 愛媛県消防学校初任教育の受講 2. 総務省消防庁消防大学校、愛媛県消防学校等での専科教育等の受講					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	【有り】の場合、基準や金額等 【無し】の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)						4,977		4,800	5,206
決算額(B)(単位:千円)						5,516		4,359	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金		0		0		0	0
		県支出金		0		0		0	0
		市債		0		0		0	0
		その他		42		0		0	90
		一般財源		5,474		4,359		5,116	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						普通旅費:96千円 出席負担金:4,263千円		普通旅費:514千円 出席負担金:4,692千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				-539		441	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	愛媛県消防学校 初任教育、救助科、予防査察科 消防大学校 女性活躍推進コース などに入学					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初の目標どおり達成できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	人材育成することで、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	各機関で高度で専門的な教育を受けることにより、複雑多様化する消防行政の各分野に対応できる人材を育成することを目的とする。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	愛媛県消防学校初任教育、救助科、予防査察科 消防大学校幹部科、緊急消防援助隊指揮隊長コース、女性活躍推進コースなどに入学予定	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策	特になし

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主任	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	職員被服貸与事務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			

根拠法令, 条例, 個別計画等	消防組織法第16条第2項 松山市消防吏員服制規則 松山市消防吏員の服制等に関する規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防吏員の被服などを貸与し、服制規律の確保及び消防業務の円滑化を進め、市民の生命・身体・財産を保護する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	松山市消防局の設置					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】消防職員 【内容】消防被服の購入、貸与及び補正					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A) (単位:千円)						24,691		25,894	31,090
決算額(B) (単位:千円)						24,472		27,687	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		0	0
			県支出金			10,053		4,970	8,250
			市債			0		0	0
			その他			0		0	0
			一般財源			14,419		22,717	22,840
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算							消耗品費:27,299千円 手数料:387千円	消耗品費:30,765千円 手数料:325千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							流用による増あり		
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			219		-1,793	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	消防被服の購入、貸与及び補正					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	円滑な消防業務の実施を推進している		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	現場活動隊員の安全性が確保されるなど、消防業務の円滑化に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	職員への被服の貸与方法が一括貸与制であり、以下が課題となっている。 ・使用年数が到来したものを一括で貸与するため、手持ちの被服の消耗状況に関係なく新しい物が届くようになっていく。 ・安全面を考慮し、災害現場で着用する被服を優先するため、更新する被服の種類が偏る傾向にある。					
R2年度の目標	継続して服制規律の確保及び消防業務の円滑化を進める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	消防被服の購入、貸与及び補正		被服の貸与方法に点数制を導入する。点数制は、持点の範囲内で、各職員が必要な被服を選択する制度であるため、限られた予算の範囲内で、効果的に被服を貸与することができる。

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主任	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防署所等維持管理業務	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約				
取り組みの柱	体制の強化						
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	消防法 消防組織法 松山市消防本部及び消防署に関する条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	消防庁舎の維持管理を行い、円滑な消防業務の取り組みを進める。						
背景(どのような経緯で開始したか)	庁舎の整備						
対象・事業内容(誰に対して,何をするか)	【対象】松山市内に設置されている消防署所などの庁舎及び同庁舎に勤務する職員 【内容】・庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 ・事務用品などの調達 ・光熱水費の支出 など						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	昭和	50	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				項	目	常備消防費	R元	当	初
現計予算額(A)(単位:千円)					82,365		86,121		88,639
決算額(B)(単位:千円)					81,609		80,901		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金			0				0
		県支出金			0				0
		市債			0				0
		その他			1,021		1,218		1,270
		一般財源			80,588		79,683		87,369
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						光熱水費:46,104千円 委託料:29,013千円 燃料費:3,766千円		光熱水費:49,277千円 委託料:32,730千円 燃料費:4,360千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						中央消防署維持管理業務、東消防署維持管理業務、南消防署維持管理業務、西消防署維持管理業務、保健所・消防合同庁舎維持管理業務を統合し、消防署所等維持管理業務へ名称変更			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			756		5,220		

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 事務用品などの調達 光熱水費の支出 など					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	庁舎の点検整備などを適正に行うなど、維持管理できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防署所などの適正な維持管理が行われることで、消防事務の円滑な遂行に貢献している。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R2年度の目標	継続して円滑な消防業務の取り組みを進める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	庁舎維持に必要な各種委託業務の発注 事務用品などの調達 光熱水費の支出 など		特に無し 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	問 浩高	担当者名	主査 重松 耕太
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104	
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	問 浩高	担当者名	主査 重松 耕太

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防長会事務	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-		取り組み	-	
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条,第8条					
事業の目的(どのような状態にするか)	・全国消防長会や一般財団法人全国消防協会の事業によって、消防制度・技術の発展や防火防災思想の普及啓発を行う。 全国消防長会・・・全国の消防長で構成される組織であり、全国消防長の意思統一と融和を促進し、情報交換を行うとともに、消防の制度、技術等の総合的研究を進め、日本消防の健全な発展に貢献することを目的に各種研修や会議などを行う団体である。 一般財団法人全国消防協会・・・全国の消防職員の知識・技術、活動能力の向上及び防火防災思想の普及広報に関する事業を行う団体である。					
背景(どのような経緯で開始したか)	全国消防長会(昭和24年5月設立、昭和36年5月名称を変更)及び全国消防協会(昭和40年8月)の事業拡大を受けて事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】松山市消防職員 【事業内容】 ・(一財)全国消防協会、全国消防長会、愛媛県消防長会、愛媛県中予地区消防長会へ負担金を支出。 ・(一財)全国消防協会や全国消防長会、愛媛県消防長会、愛媛県中予地区消防長会が行う研修会や会議に職員を派遣し、消防力向上に必要な知識・技能の習得や他本部との情報交換を行っている。 ・愛媛県消防長会の運営。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等	「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	昭和 24	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般		項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期	当初
		款	目						
		H30年度			R元年度		R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)					1,599		1,646		4,546
決算額(B)(単位:千円)					1,437		1,460		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金			0		0		0
		県支出金			0		0		0
		市債			0		0		0
		その他			70		83		198
		一般財源			1,367		1,377		4,348
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算					負担金940千円、旅費517千円		負担金3,474千円、旅費1,072千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等					流用による減あり				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			162		186		

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・愛媛県、四国、全国の消防本部と情報交換及び連携強化 ・愛媛県消防長会の運営					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	全国の消防本部との情報交換と連携強化、愛媛県消防長会の運営を計画通り進めることができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		全国の消防本部との連携によって、相互応援体制の充実が充実したほか、(一財)全国消防協会や全国消防長会が行う研修や訓練によって職員の技能が向上し、本市の消防力が強化した。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	(一財)全国消防協会四国地区支部長及び全国消防長会四国支部長は四国都の消防局長で持ち回りにており、令和2・3年度は松山市消防局長がその任に就くほか、運営は本市消防局が行う。 また、これに伴い、本市で消防救助技術四国地区指導会を開催する。					
R2年度の目標	引き続き、愛媛県、四国、全国の消防本部との情報交換及び連携強化を進め、消防体制の充実強化を進める。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・愛媛県、四国、全国の消防本部との情報交換及び連携強化 ・愛媛県消防長会の運営 ・(一財)全国消防協会四国地区支部の運営 ・全国消防長会四国支部の運営	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	
				消防救助技術四国地区指導会を開催するため、必要経費について四国内の消防本部で応分する。		



令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主査	吉野 宏祐	
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	消防施設担当	連絡先	926-9213			
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	副主幹	二村 浩昭	担当者名	主任	吉野 宏祐	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	消防施設営繕事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約			
取り組みの柱	体制の強化					
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し		

根拠法令, 条例, 個別計画等	消防法 消防組織法					
事業の目的(どのような状態にするか)	消防施設(消防庁舎等)の補修や改修をするなど、消防施設全般を維持管理し、消防活動拠点としての機能を維持する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	庁舎の整備					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・消防施設(消防庁舎等) 中央消防署5Fコンピューター室空調改修工事で、共友工業株式会社へ工事請負費を支出 中央消防署目隠しフェンス設置工事で、株式会社風洋道路興業へ工事請負費を支出 中央消防署5階通信指令室(西)空調改修工事で、有限会社カワハラへ工事請負費を支出 城東支署オーバースライダーSS1修繕工事で、文化シヤッターサービス株式会社 中四国サービス支店へ工事請負費を支出 西消防署西部支署給湯設備更新工事で、株式会社暁設備へ工事請負費を支出 外					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	昭和 23	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度		
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						15,600		64,636		92,110
決算額(B)(単位:千円)						15,994		64,924		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳		国支出金		0		0		0		0
		県支出金		0		0		0		0
		市債		0		0		0		65,200
		その他		0		0		0		14,800
		一般財源		15,994		15,994		64,924		12,110
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算										・松山市消防施設改修等調査業務委託:21,890千円 ・中央消防署5Fコンピューター室空調改修工事:15,939千円ほか ・非常用自家発電設備タンク増設ほか工事:65,273千円 ・東消防署仮眠室改修工事:14,837千円 ・常備消防施設一般営繕工事費:12,000千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										流用による増あり
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				-394		-288		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・消防施設の補修や改修 ・個別施設(長寿命化)計画の策定業務委託					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	消防活動拠点としての機能を維持している		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	消防施設(消防庁舎など)の補修や改修を行うことで、適正に維持管理され、消防事務の円滑な遂行に貢献しているため。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					
R2年度の目標	継続して消防活動拠点としての機能を維持するほか、非常用自家発電設備の稼働時間延伸を行い、庁舎機能を強化する。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	・非常用自家発電設備タンク増設ほか工事 ・東消防署仮眠室改修工事 ・消防施設の補修や改修		特に無し 特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104		
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	担当者名	主査	黒川 美由紀	
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104		
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	担当者名	主任	黒川 美由紀	

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	22111	女性消防吏員活躍推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	安全に暮らせる環境をつくる			重点プロジェクト	-		
施策	消防・救急・救助体制の整備			主な取り組み	-		
主な取り組み	消防・救急・救助体制の充実		市長公約				
取り組みの柱	体制の強化						
総合戦略	基本目標	-		取り組み	-		
	政策	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-	
	施策	-				-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令, 条例, 個別計画等	消防組織法第6条、第8条、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律						
事業の目的(どのような状態にするか)	県内の消防本部と連携しながら女性消防職員の採用を積極的に進め、働きやすい環境を整備する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(平成27年)に基づき、消防局では平成28年4月から令和3年3月までの特定事業主行動計画を策定し、「採用試験の女性受験者数を20人以上」「女性職員の占める割合を4.6%以上」にする目標を設定。</li> <li>総務省消防庁が女性活躍の先進事例を構築することを目的に展開している「令和元年度女性消防吏員活躍推進モデル事業」に本市の提案が採択され事業を開始。</li> </ul>						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<b>【対象】</b> 消防職員 <b>【事業内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防職員が視察・研修や検討会などを行い、知識を深め、女性が働きやすい環境整備に努める。</li> <li>女性向けの職業説明会や広報で女性の採用に力を入れる。</li> </ul>						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	令和	元	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)						0		904	0
決算額(B)(単位:千円)						0		568	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		568	0
			県支出金			0		0	0
			市債			0		0	0
			その他			0		0	0
			一般財源			0		0	0
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算								使用料及び賃借料475千円、消耗品費47千円	令和2年度は予算を執行する事業の計画はない。
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								6月補正で全額(904千円)予算計上。	
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0		336	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性消防職員及び人事担当職員による先進民間企業視察</li> <li>女性消防職員による検討会</li> <li>愛媛県内消防本部合同での女性向け職業説明会の開催</li> </ul>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	当初計画通りの研修や職業説明会などの事業を行うことができ、女性消防職員の採用者数が令和元年度の0人から令和2年度は3人に増加した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		女性消防職員の増加で多様な視点での消防活動が展開できるようになり、消防力の強化が期待できる。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	女性向けの職業説明会や研修会など、女性を対象とした取り組みはある程度達成できたが、今後は、男性への理解を深め、職員全員で働きやすい職場環境をつくるという目的を達成していく。					
R2年度の目標	女性だけでなく男性消防職員にも女性活躍への理解を促す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男性管理職員向け研修会</li> <li>女性の活躍推進に関するワーキンググループの設置</li> </ul>	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	全ての職員が、事業の内容を正しく理解するため、通知文だけでなく、研修や各種広報ツールを有効に利用する。

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104		
	部長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主幹	間 浩高	担当者名	主任	野上 孝之
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	企画財務担当	連絡先	926-9104		
	部長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	間 浩高	担当者名	主任	野上 孝之

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	29999	消防基金積立事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約					
取り組みの柱	その他									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し							
根拠法令,条例,個別計画等	消防組織法第6条、第8条、「消防基金の設置、管理及び処分に関する条例」									
事業の目的(どのような状態にするか)	消防施設の計画的な整備等を行う財源を確保するため、消防基金として積立てを行うもの。									
背景(どのような経緯で開始したか)	・昭和39年4月「消防基金の設置、管理及び処分に関する条例」が施行され、消防施設の計画的な整備等に備えるため、消防基金への積立てを開始。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	消防基金へ積立て。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由					
始期・終期(年度)	昭和	39	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)				0		100,000		0	
決算額(B)(単位:千円)				0		100,000		0	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			0		0		0	
一般財源			0		100,000		0		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				積立金100,000千円		未定			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				3月補正で全額(100,000)予算計上。		予算計上時期・金額未定。			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		0		0	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・消防施設の計画的な整備に備えるため、消防基金へ積立てを行う。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など	今後の計画的な消防施設整備のため、積立てを行うことができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由			消防施設や車両の整備に備え消防基金を積立てることで、財政負担の平準化を進めることができた。				
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	消防業務の性質上、費用が高額な特殊施設や車両が多く、整備に関する費用捻出が困難な状況にある。計画的な消防施設の整備及び財政負担の平準化のために継続した消防基金の積立てが必要。								
R2年度の目標	令和元年度と同様の積立て。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		積立金100,000千円		継続的な積立て。	
	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策								

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	西岡 克仁	リーダー名	主査	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳
令和元年度	部局等名	消防局	課等名	総務課	担当グループ名	人事担当	連絡先	926-9214			
	部等長名	中矢 洋造	課等長名	金澤 英雄	リーダー名	主幹	担当者名	主査	亀澤 浩	消防副士長	稲垣 淳

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	62221	昇任試験事務	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	地方分権社会を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	効率的な行政運営の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	職員の資質向上		市長公約			
取り組みの柱	職員のやる気を引き出す組織風土の醸成					
総合戦略	基本目標	-	取り組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	地方公務員法、松山市消防職員任用規則					
事業の目的(どのような状態にするか)	職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	中核市移行をはじめとする地方分権への本格的な取り組みや高度化、多様化する市民ニーズに対応することができる職員を登用するため。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】課長級・・・主幹の在職階年数が3年以上の職員、主幹・・・副主幹の在職階年数が3年以上の職員、主査・・・主任の在職階年数が4年以上の職員 【事業内容】 <課長級、主幹>口述試験、勤務評定を総合的に評価して昇任候補者を決定 <主査>主査昇任試験の資格を得るため、検定試験を実施 検定試験合格者の中から筆記試験(記述式)、口述試験、勤務評定を総合的に評価して昇任候補者を決定					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	【有り】の場合、基準や金額等【無し】の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 10	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	H30年度		R元年度		R2年度	
				消防費	項	消防費	目	常備消防費	R元予算措置時期
現計予算額(A)(単位:千円)						651		649	673
決算額(B)(単位:千円)						592		610	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0		0	0
			県支出金			0		0	0
			市債			0		0	0
			その他			0		0	0
			一般財源			592		610	673
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算								委託料:610千円	委託料:673千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			59		39	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	主査昇任検定試験の実施 主査(消防司令補)、主幹(消防司令)、課長級(消防司令長)の昇任候補者名簿試験の実施					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	能力と意欲のある職員を登用できている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることで、消防・救急・救助体制の充実につながっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特になし					
R2年度の目標	職員の能力と適性等の評価を公正に行い、有能な人材の登用と職員のチャレンジ意識の向上を通じて組織の活性化を図ることを目的とする。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	主査昇任検定試験の実施 主査(消防司令補)、主幹(消防司令)、課長級(消防司令長)の昇任候補者名簿試験の実施		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策